

⑪ Int.Cl.<sup>3</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公告

昭和59年(1984) 4月23日

A 01 K 87/00

6804-2B

B

(全3頁)

1

2

## ⑮ 釣竿用トリガー

⑰ 実 願 昭56-135900

⑱ 出 願 昭56(1981) 9月11日

⑲ 公 開 昭58-41166

⑳ 昭58(1983) 3月18日

㉑ 考 案 者 大村 隆一

静岡市南町19番3号

㉒ 出 願 人 富士工業株式会社

静岡市南町19番3号

㉓ 代 理 人 弁理士 福地 正次

## ⑳ 実用新案登録請求の範囲

1 比較的短寸の管状部材よりなる本体とその本体下方に一体的に形成される指掛部とを有し、前記本体の内面形状は適用するリール取付装置のスリーブの外形とほぼ等しく構成したことを特徴とする釣竿用トリガー。

2 前記本体の外周には補強枠を外嵌めたことを特徴とする前記実用新案登録請求の範囲第1項記載の釣竿用トリガー。

## 考案の詳細な説明

本考案は釣竿を操作するにあたって、その操作性を良好にする為の指掛、即ちトリガーに関するものであつて、特に既存の筒状リール取付装置を何ら加工することなく、ユーザー又は販売者が簡単にとりつけることができるようにした新規な釣竿用トリガーに係るものである。

従来からこの種のトリガーが数多く存在する。

これらを大別すると釣竿の握り部分に予め固着されたものと、釣竿あるいは釣用リールの取付装置の部分に取外し自在に構成したものとが存在する。ところで前者は、通常のリールシートの外にトリガー付リールシートが必要となり、生産者にとつては多種製品の製造が強いられ、また販売者には在庫品種の増加をもたらす経済的な面での不利が在り、ひいては、需要者に安価に供給できな

くなるという問題を有していた。また後者、即ち特に取外し自在のトリガーについて見ると、このものは、リールシートとトリガーとが分離して在庫できるので在庫量、資金負担は軽減でき、前者における不利は解消できる。しかし乍らこのものはトリガーそれ自体の構成とともに、それが適用されるリール取付装置の本体側にもそれに対応した構成をとることが必要であり、換言すればトリガー付きのリール取付装置として特殊なものでしなかつた。

加えてこの場合には、脱着機構が存在するが為にその部分が比較的複雑な構成となることを余儀なくされ、その結果リールシートのみで販売される場合には、通常のリールシートに比べ、機能面、価格面で不利益となる。

本願の目的は既存のリールシートを加工せずに販売者あるいは使用が簡単に取付けられるトリガーを提供することにより、前記欠点を解消することを目的とするものである。即ちその構成を概略的に述べると比較的短寸の管状部材よりなる本体とその本体下方に一体的に形成される指掛部とを有し、前記本体の内面形状は適用するリール取付装置のスリーブの外形とほぼ等しく構成したものである。

以下本考案を図示の実施例に基づいて具体的に説明する。第1図は本考案たる釣竿用トリガー1を釣竿Aにおけるリール取付装置2に取付けた状態を示すものである。つまりリールRと反対側の位置に指掛部が形成されるようにしたものである。因みにここに適用するリール取付装置について簡単に説明すると、このものは筒状本体3に対しその下方にキー溝4が刻設され、一方、後方からはほぼ中央付近まで雄ネジ5が刻設されてなり、前記筒状本体の一端部には固定スリーブ6が外嵌めされる。一方これに対向して雄ネジ5の設けられている側には摺動スリーブ7が外嵌めされ、このものは前記雄ネジ5に螺合する螺環8と回転自

3

4

在に連結され、螺環 8 の締込みに従つて摺動スリーブ 7 が前後に移動するものである。そして固定スリーブ 6 と摺動スリーブ 7 とはその上方にリール R の取付足 R' を受入れる為のフード 6 a, 7 a が盛上がるように形成されている。又前記 5 キー溝 4 に対応して固定スリーブ 6 には位置決め用の突起 6 b が形成され、又摺動スリーブ 7 にもキー溝 2 に嵌まり込む係合突起 7 b が設けられるのである。このようなリール取付装置に対し本考案たる釣竿用トリガー 1 を適用するものであつて、このものは次のような構成をとる。まず符号 10 は金属あるいはプラスチック材料により構成した短寸の管状部材より成る本体であつて、このものはその下方に一体的に指掛部 11 を有する。

この本体 10 の形状は前述した摺動スリーブ乃至は固定スリーブ 6 の外形の形状と相似する内面形状を有する。即ち本体 10 の上方には前記固定スリーブ 6 のフード 6 a に対応して膨出した形状をなす張出部 12 を形成するものである。そして指掛部 11 は、指掛が外れないように下方が前方に彎曲するように形成された角状の形態をとる。このような構成が本考案の基本的な構成であるが更に性能向上を図る為に本考案例では次のような構成をも具える。即ち筒状の本体 10 の前縁には内側に向かうフランジ状の係止縁 13 を形成する。因みにこの係止縁は前縁の全周囲にわたって形成されていても、もとより差支えないが部分的に形成されていてももとより差支えない。また本体 10 の外周には金属製の補強枠 14 をとりつけるのを可とするものであつて、本体 10 の前後いずれがあるいは双方の端部にタガ状に形成したり、比較的広い範囲を覆うように形成してもよい。

本考案はこのような構成を有するものであつて、これを使用するにあつて次のようにリール取付装置 2 に装着する。即ちこのものは多くは固定スリーブ 6 を手前側にし、摺動スリーブ 7 を前方に置くようにして用いるのが使い勝手の上から好ましいものであつて、固定スリーブ 6 に取付ける場合について説明する。まずユーザーは筒状のリール取付装置 2 の固定スリーブ側に本考案たるトリガー 1 をあてがうようにする。このあてがう場合には当然固定スリーブ 6 におけるフード 6 a の張出しに合うように本体 10 における張出部 12 を位置させ、一方下方に指掛部 11 が位置するよう

にあてがうのである。

しかる後、トリガー 1 をそのまま前方に押し出すようにし、固定スリーブ 6 の外側に嵌込むのである。ところで本考案の基本的な構成要件によれば、本体の前縁には係止縁 13 が必ずしも存在することを必要とされないものであるが、このような場合でも、テーパの結合により両者は十分な嵌合い強さを発揮する。もとよりこの場合トリガーを永久的に取付けるようにする場合には接着剤を充填し、両者の更に積極的な固定を図ることもできるものである。

又本実施例（実施態様項 2 において規定する）のように、本体をプラスチックで構成し、且つ本体の前縁に内側に向かう係止縁 13 を形成している時には、このものは固定スリーブ 6 の前端縁に覆い被さるように係止した状態となり、この構成のみで十分な固定が図られるものである。

因みにトリガーを嵌めるスリーブ側に例えば係合突起 6 b のような凹陷した部分が存在するときには、このものに対応してトリガーの内面に突起（第 3 図、第 5 図において符号 15 で示す）を形成して、回転止めを図るようにしてもよい。

本考案は以上述べたような構成並に作用を有するものであつて、まず釣人が既存の筒型のリール取付装置を有する時、これに何らの加工も必要とせず指掛部を後付けできる点で好ましいものである。もとより指掛部を必要としない場合には係るトリガーを別途購入することなくリール取付装置をそのまま使用していればよいのである。

要は必要に応じてユーザーがトリガーの部品だけを購入し、これによつてトリガー付のハンドルをも実現することができる点にその著しい効果が見出せるのである。又このトリガーを取付けにあつては摺動スリーブに対し、これを外嵌めするような形状であるから、リール取付装置の側にトリガーを取付ける為の格別の機構を設ける必要も全くなく、この点でも好ましいものである。更に又、固定スリーブに対し外嵌めしてトリガーを取付けるから、確実な固定を図ることができ、後付けの場合に往々にして生ずるガタ付きを防止でき、また後付けながら故に不自然さが全くなく、一体感の優れたトリガーが得られるものである。

更に本実施例のように本体の前縁に係止縁を形

5

6

成すれば、いわゆるワンタッチの圧嵌めで、確実な固定がなし得、簡単な取付と相俟つて好ましい効果を奏するのである。

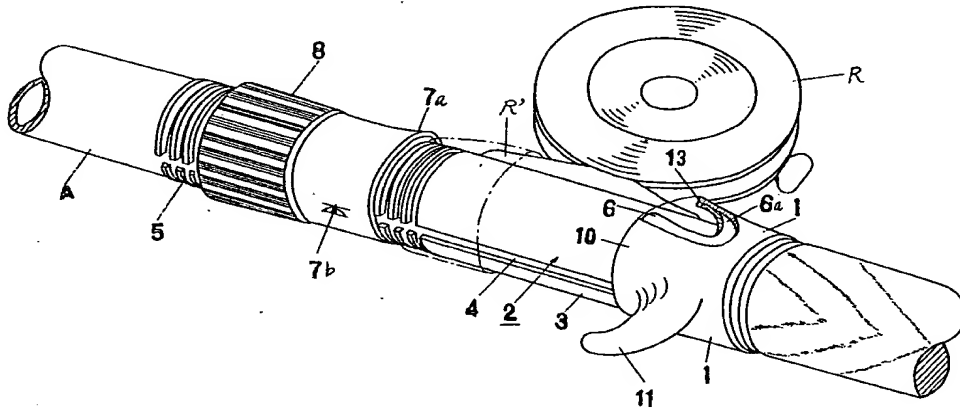
図面の簡単な説明

第1図は本考案たる釣竿用トリガーを筒状リール取付装置に装着した状態を示す斜視図、第2図は本考案たるトリガーの斜視図、第3図は同上正

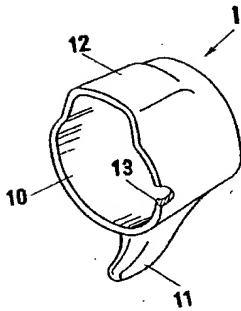
面図、第4図は同上側面図、第5図は同上中央縦断面図である。

1……トリガー、2……リール取付装置、6……固定スリーブ、7……摺動スリーブ、10……本体、11……指掛部、12……張出部、13……係止縁、14……補強枠、15……突起。

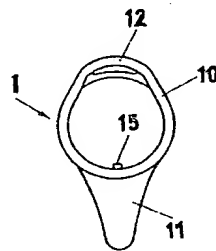
第1図



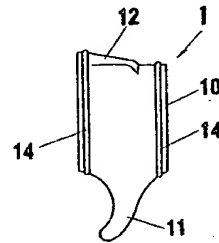
第2図



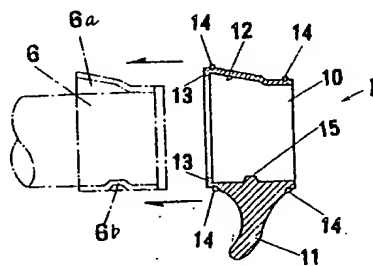
第3図



第4図



第5図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**